

防災 対策

いざというときあわてないように 家族で話し合いを

災害が発生したとき、家族と一緒にいるとは限りません。実際に災害が発生した時のことを想定して、各自がすべきことや避難方法、連絡方法などを家族で話し合っておきましょう。



1 役割分担を決める

- 日常の予防対策の役割と災害発生時の役割を決めておく。
- 高齢者や乳幼児がいる場合は、保護担当者を決めておく。



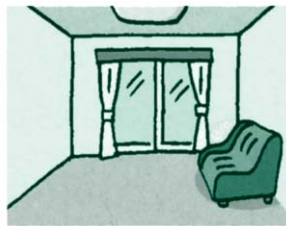
2 危険箇所をチェック

- 家の内外の危険箇所をチェックしておく。
- 危ない箇所は、修理や補強方法について話し合う。



3 安全な空間を確保する

- 家具の配置換えなどにより、家のなかに安全なスペースを確保する。
- 家具の転倒・落下を防ぐ対策を取っておく。



4 非常持出品をチェック

- 必要な非常持ち出し品がそろっているか確認しておく。
- 定期的に保存状態や使用期限を点検・交換する。



5 防災用具をチェック

- 消火器や救急箱、非常用品の置き場所を確認しておく。
- 消火器の使い方を確認しておく。
- 応急手当ての方法を確認しておく。



6 連絡方法や避難場所を確認しておく

- 家族が離ればなれになった時の連絡方法や避難場所を確認しておく。
- 休日などを利用して家族みんなで避難経路の下見をしておく。
- 防災連絡カードを作り、携帯しておく。